



第1号
 昭和35年4月号(1960年)
 人口 29,182人
 世帯数 5,214世帯
 町の予算 2億3,609万円

石炭の年産が100万トン
 を突破した昭和37年から
 町の人口が3万人を越え
 た昭和39年頃が最盛期で
 あり、町も活気にあふれて
 いました。

広報

はぼろ

通巻500号

広報「はぼろ」が今月号の発行で通巻
 500号を迎えました。

昭和35年4月に第1号が発行されて
 から45年にわたる長い間、ご愛読くだ
 さいましたことに感謝申し上げます。

これまで、発行された広報「はぼろ」
 から、節目ごとに羽幌町の歩みを振り
 返って見ます。

第100号
 昭和46年5月号(1971年)
 人口 17,963人
 世帯数 4,589世帯
 町の予算 9億205万円

昭和45年に羽幌炭鉱が
 閉山し、一転して過疎化が
 急激に進みました。



第200号
 昭和55年1月号(1980年)
 人口 13,670人
 世帯数 4,195世帯
 町の予算 30億3,082万円

昭和50年から始まった
 羽幌川切替事業は、昭和61
 年に新水路の通水が実現
 しました。

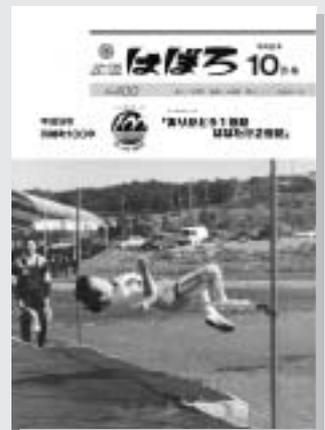


第300号
 昭和63年7月号(1988年)
 人口 11,801人
 世帯数 4,089世帯
 町の予算 50億3,100万円

昭和62年に国鉄羽幌線
 が廃止となり、代替バスの
 運行が始まりました。

第400号
 平成8年10月号(1996年)
 人口 10,121人
 世帯数 4,080世帯
 町の予算 78億7,200万円

旧羽幌川跡地を利用したリバーサイド開発が進み、
 平成6年にサンセットプラザはぼろがオープン。平成
 9年には海鳥センター、翌年にはバラ園や総合体育館
 が完成しました。



第500号
 平成17年2月号(2005年)
 人口 9,058人
 世帯数 4,027世帯
 町の予算 70億3,000万円